



～介護業界の働き方を福井からデジタルで変える～

元ITエンジニアが実現する介護現場のDX

東京でITエンジニアをしていた代表取締役の林氏は、ご両親が介護事業所を開設するのに併せ福井にUターンし、平成18年の設立時から運営に参画しています。

林氏は事業所運営の傍ら、ノーコードツールを使い、紙と電話、システムが混在していた事務作業を、すべてデータ化し1つのシステムで管理・出力させることを実現しました。

利用者の基本情報や外泊予定などを入力することで、施設全体で用意する食事量の計算や勤務交代時の送り出し事項の出力、各役所への書類作成など、煩雑な事務作業を「手書きゼロ」「アナログな伝達ゼロ」で行っています。

効果は、残業時間の大幅な縮減として数字にも表れています。

林氏は、昨年12月に行われた「全国ワークスタイル変革大賞2024」において取組をプレゼンし、「ノーコード推進協会賞」を受賞しました。事務作業の業務負担軽減により、職員が利用者ケアに注力できる働き方改革の好事例であることが特に評価されました。



全国ワークスタイル変革大賞授賞式の様子(右側が林氏)

介護現場のDXを横展開

入力・出力が一元化されているだけでなく、メニュー画面のレイアウトや出力する項目・形式などを、職員ヒアリングの上現場の実態に即して作成・改良されています。

結果、一見「kintone」で作ったとは思えない「現場で使いやすい」システムで、バッチや自動化も用いています。IOIの利用者からもタブレットでサインを受けています。

ノーコードツールを使ったシステム製作の強みが活かされており、他の事業者様も参考に出来るため、問合せや全国の取材・自治体の見学も相次いでいます。

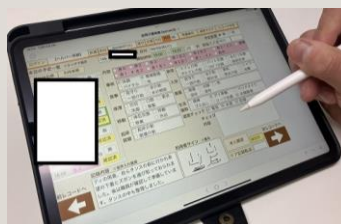
林氏は2023年、事業所内に「IT介護支援室」を設置し、県内外の介護事業所や介護現場のDXを行う職員とつながり、情報交換や新たなアプリ開発を行っています。

現在は「あんしん村IT支援室」と名称を変え、毎週木曜日にはコワーキングスペースを開催し、人の集まるコミュニティを目指しています。

※ 詳しくは「あんしん村IT支援室」で検索

ご興味のある方は一度コミュニティに参加されてはいかがでしょうか。自走させるDXについてヒントが得られるかもしれません。

FIOと福井県は今後も、デジタルを使った介護業界の働き方改革にチャレンジする林社長と同社を応援してまいります。



システムの画面例



「IT支援室」の様子

企業概要

所在地 福井市北四ツ居2丁目7-17

設立 平成18年

代表者 代表取締役 林智之

事業 有料老人ホーム、訪問介護事業所
デイサービス事業所の運営



同社サイト



IT支援室